

- 日 時 令和4年12月22日(木)13:30~14:30
- 会 場 別海町生涯学習センターみなくる
- 出席者 委員23名中23名出席
- 会議内容

## 1 開会

<冒頭、会長からあいさつ>

- ・本協議会は地域にとって望ましい地域旅客運送の姿を明らかにする地域公共交通計画策定に向けて議論を行うこととして設立された。8月3日に本協議会を設立し、第1回協議会を開催。地域公共交通計画の策定に向けた進め方について了承いただき、地域公共交通計画のたたき台を説明した。
- ・第1回協議会終了後、各種調査、関係者へのヒアリング、路線の分析などを実施した。
- ・今回は第2回の協議会開催となり、計画原案の策定に向けた議論を行いたい。原案の策定に向けた案について説明を行うので皆様からの忌憚のないご意見をいただきたい。

## 2 議事

- (1)北海道釧路・根室地域公共交通計画(原案)について
- (2)計画策定までのスケジュールについて

【資料1、資料2関係】

事務局から資料により説明。

【主な質問・意見等】

### ◆釧路町

- ・KPI の目標数値が公共交通の利用者数を維持と記載されているが、人口減少局面において維持するということは観光、交流人口を増やすことにウエイトを置かないと厳しい。

### ◆北海道警察釧路方面本部交通課

- ・乗換地点において利便性、快適性の向上を図るという記載は、バスからバスへの乗り継ぎが主眼となっていると見受けられ、バス以外の交通機関からの乗換が見えてこないが、道交法改正により一定の要件を満たせばバス停にバス以外の車輛も駐車でき、十勝の事例は参考になる。また、バス停やバスターミナルの活用法として、物産品の販売等の実施により人が集まる環境をつくる事例もある。

## 3 その他

<各市町村からの発言>

### ◆釧路市

- ・釧路羅臼線、根室線について計画に明示されているが、今後、個別に協議されることで理解。

### ◆根室市

- ・今年度中に地域公共交通計画を策定するための調査を実施。釧路・根室地域の広域の公共交通計画と整合性を図りながら計画策定を進める。

### ◆中標津町

- ・KPI の目標値の設定は難しい問題と考える。
- ・当町でも公共交通計画を策定中であるが、広域路線の町の計画での見せ方について今後相談させていただきたい。

<交通事業者からの発言>

◆くしろバス

- ・コロナ前と比べ路線収入が 15%を超えて減収となっている現状にある。平均乗車密度も減っており、国、道の補助要件が確保できない状態となる。
- ・補助要件の変更の有無などについてはバス事業者が計画に反映できる時期に早めに教えてほしいと考えている。

◆阿寒バス

- ・実績は前年比では伸びているが、コロナ前と比較すると 70%程度の実績。
- ・地域協議会において生産性向上として 1%の改善を求められているが、燃料が上がると我々の力ではどうしようもない状況となり、収支率が下がる状況となっている。生産性向上の目標数値の緩和を望む。

<全体の総括>

◆北海道運輸局釧路運輸支局

- ・釧路羅臼線や根室線など具体的な話を入れなくてよいのかと感じたが、個別路線は今後検討ということで国庫補助の関係もありこのようなつくりになっていると感じた。
- ・各市町村の計画との整合性もあるが、各市町村の意見を反映させつつ、少しでも新たな取組を反映させてほしい。
- ・運転手不足は難しい問題であり、若者が地元のバス会社に運転手や整備士として就職していただけるよう国としても考えているので、各市町村も協力をお願いしたい。

4 閉会

- ・会長から謝辞を述べ、閉会。